



がじゅまる

学校だより 令和7年度4月号 知名町立住吉小学校

【何事にも「せいっぱい」取り組む住吉っ子】

新年度のごあいさつ

校長 伊口 秀樹

はじめまして。本年4月に着任しました校長の伊口です。出身は和泊町西原です。国頭小学校、和泊中学校、大島高校、鹿児島大学を卒業して教員となり39年目、最後に生まれ故郷沖永良部の学校に戻って来られたことを大変うれしく思っております。



島の良さを生かした住吉小校区ならではの教育活動を展開していきたいと思っておりますのでご理解ご協力をお願いします。

さて、令和7年度がスタートしました。私同様、新1年生5人、新任の先生2人が加わり、2年生6人（転入1人）、3年生7人、4年生10人、5年生5人、6年生8人、教職員13人、総数54人が乗船した住吉小学校丸が1年間の旅に向けて出航です。

学校においては、コロナ禍の影響を受けていた様々な教育活動の見直しがなされておりましたが、本年度も「不易と流行」を肝に銘じながら可能な限りコロナ禍以前の教育活動を展開したいと思っております。

しかしながら、少子化に伴う複式学級の増加や、GIGAスクールの一人一台タブレットなどICT教育の推進など、学校教育が大きく変化しておりますので、児童、教職員、保護者、地域の理解を得ながらより充実した学校経営になりますよう検討していきたいと思っております。

また、本年度、校長として以下の3点を課題と捉えて、その解決、解消に向けて全力で取り組んで参りたいと考えております。



1つ目は、コミュニティ・スクールとして学校運営協議委員とともに、地域に開かれた、地域とともにある住吉小学校となるよう地域資源、地域人材の活用に努めながら、各地域に子どもが見える学校行事を計画したいと思います。

2つ目は、学力向上対策です。令和6年度の各種調査結果を踏まえた上で、子ども主体の授業の在り方や、一人一台タブレットを利活用した授業及び家庭学習の充実を図ります。特に家庭学習にAIソフト「キュビナ」を積極的に活用させたいと思います。

3つ目は、複式学級や特別支援学級における指導法改善です。職員研修通して各先生方に個に応じた、個に寄り添った個々の目線にあう授業ができるよう指導していきます。

1年後に住吉小学校丸に乗船した54人全員が、健康で無事に成長して帰って来られるよう頑張ってもらいますので、ご理解とご協力を、そして、色々なご意見を頂けたら幸いです。

* 祝 第127回 卒・入学式 *



春は別れと出会いの季節です。3月に11名の卒業生が、住吉小から巣立ちました。そして、4月に5名の新入生が住吉小に入学してきました。毎年、卒業式・入学式のために、島内の多くの方々からたくさんのお花を提供していただき、会場をいろどることができました。感謝申し上げます。

また、新1年生下校時の「ながら見守り活動」に感謝するとともに、今後のご協力をよろしくお願いします。

* 安全が最優先 身の回りを再点検 *

子どもの交通事故の特徴として「道路横断中」「自宅付近」「自転車の事故」などが挙げられます。事故の主な原因を見ると、自転車では「交差点での安全確認が不十分なこと」「一時停止しなかったこと」。歩行中では「飛び出し」です。子どもは、興味をひかれるものがあると、夢中になってしまい、周囲の状況が分からなくなる場合が多いです。危険なことの判断もできなくなってしまう。日頃から繰り返し、注意を喚起していくことが大切です。

